

# 4-1 道づくりの取り組み

## ■山陰道の整備（広域的な交流・連携の促進）

- 山陰道は、鳥取県から山口県に至る約380kmの自動車専用道路です。
- この道路は、鳥取・島根・山口3県の主要都市を東西に結び、移動時間の短縮や、空港・港湾へのアクセスの強化を図ることにより、各地域間の交流・連携の強化及び推進、山陰地方の産業・経済の発展や観光振興を目的として整備を進めています。
- また、災害に強い国づくりを推進し、更に活力ある地域社会を形成するため、地域の自立的発展を支援する視点からも重要な路線です。

## ■鳥取県内の山陰道整備状況



# 4-2 山陰道の整備

## ■北条道路の整備

2026(R8)年度事業費：11,534百万円【事業推進】

- 北条道路は、鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬から東伯郡琴浦町槻下を結ぶ延長13.5kmの自動車専用道路で、鳥取県内最後の山陰道整備区間として2017(平成29)年度に事業着手しています。
- 2026(令和8)年度は、用地買収、改良工事、橋梁上下部工事、舗装工事、道路付属物設置工事等を推進します。



※軟弱地盤対策工事等が順調に進捗した場合

## ■期待される整備効果

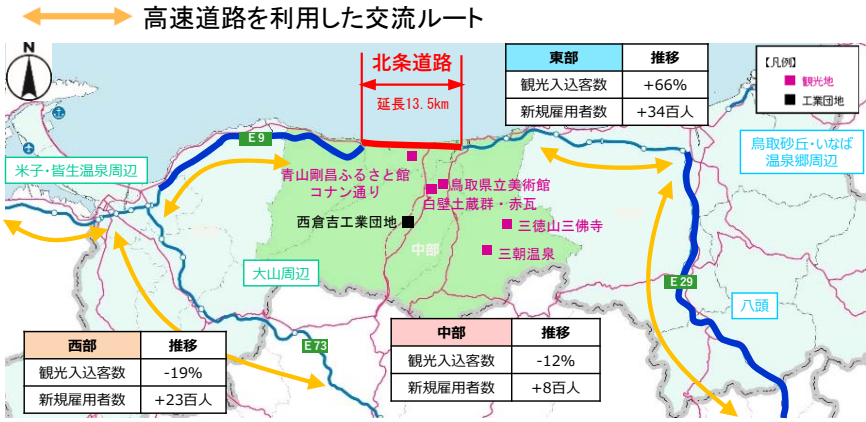
### ◆交通の適正な機能分担による安全性の向上

- 通過交通と生活交通が分離され、安全で円滑な走行環境が形成されます。

### ◆観光地の活性化・企業進出の促進

- 観光周遊ルートが拡大し、鳥取県中部への観光客数の増大が期待されます。
- 時間短縮、定時性確保などにより、新たな企業誘致の促進と雇用の確保が期待されます。

### 【鳥取県の観光・企業活動の変化 (R5/H19)】



▲写真① 北条JCT (仮称) より鳥取市方面を望む

(出典)鳥取県商工労働部立地戦略課  
(出典)鳥取県観光入込動態調査

# 4-3 山陰道の整備

## ■米子道路の整備

2026(R8)年度事業費：278百万円【事業推進】

- 米子道路は、山陰道の淀江IC～米子西IC間を構成する延長14.2kmの自動車専用道路です。
- 日野川東IC～米子南ICにおいて、渋滞に起因する追突事故が集中的に発生しており、交通阻害箇所の走行性の向上を図るため、付加車線を設置しています。
- 2026(令和8)年度は、改良工事を推進します。

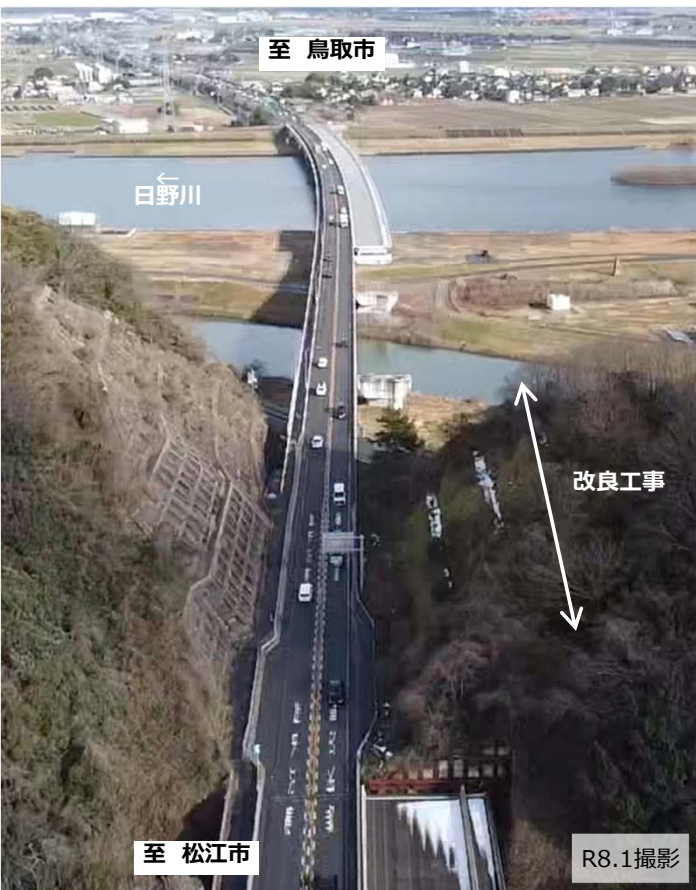
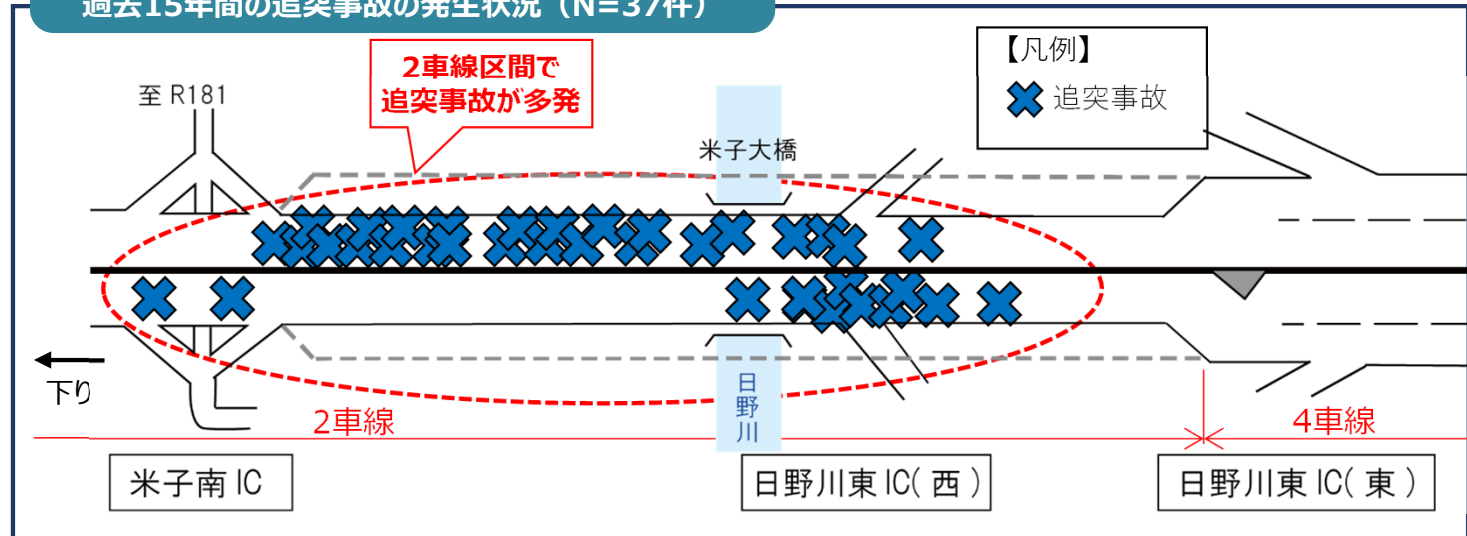
## ■2026(令和8)年度事業予定箇所



【写真①】米子南IC付近の渋滞状況

資料：交通事故総合データベース（平成20年～令和4年）

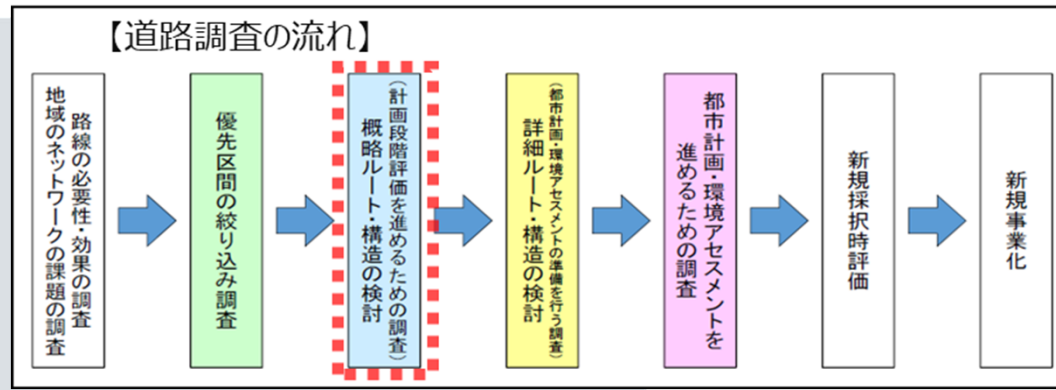
### 過去15年間の追突事故の発生状況（N=37件）



# 4-4 中国横断自動車岡山米子線(米子～境港)

## ■中国横断自動車道岡山米子線(米子～境港)

➤ 中国横断自動車道岡山米子線は、岡山県岡山市から鳥取県境港市に至る延長約128kmの高速自動車国道であり、平成9年までに岡山自動車道、米子自動車道が開通しています。残る、米子～境港間について現在、計画段階評価(概略ルート・構造の検討)を進めています。

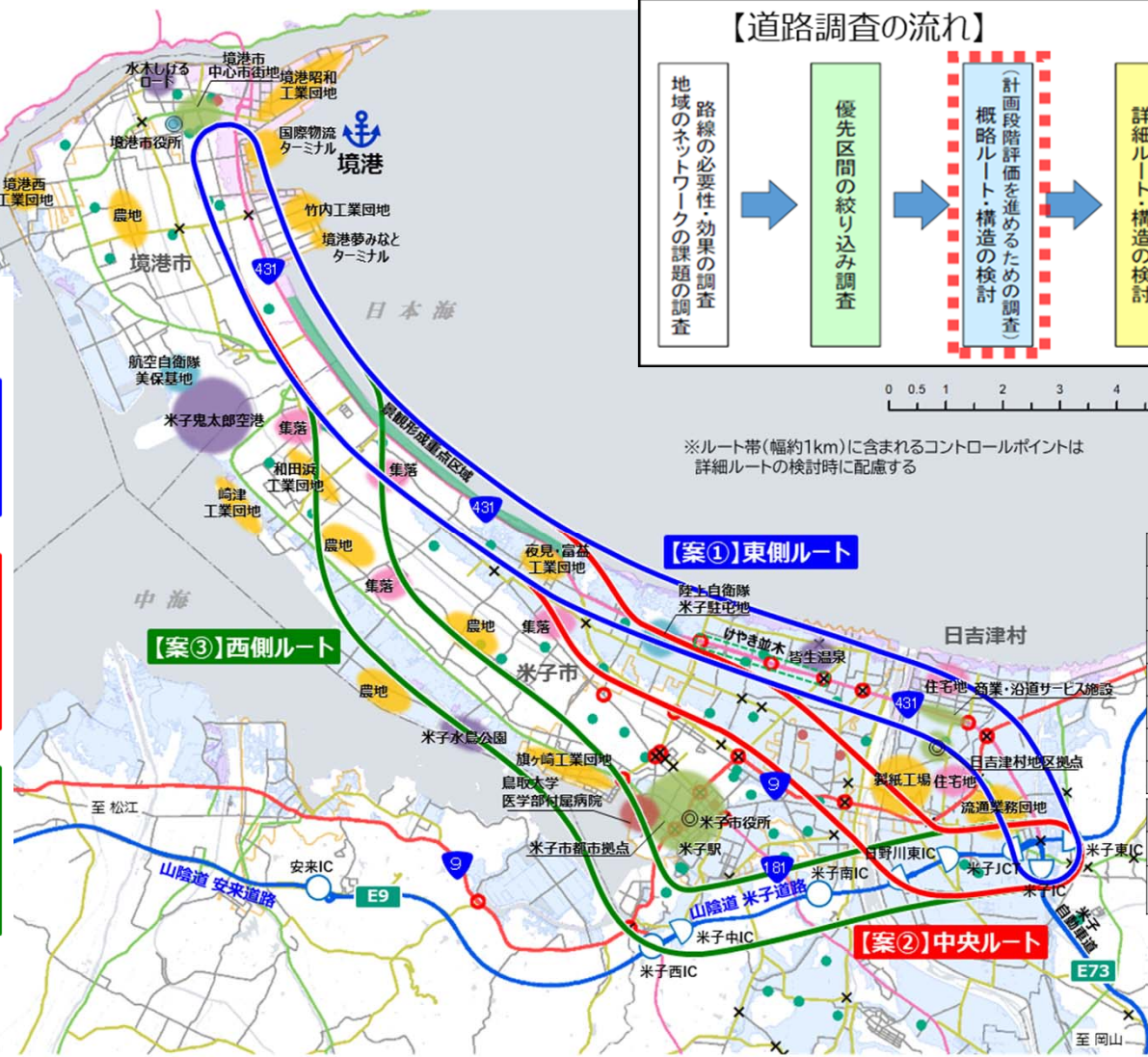


### 複数ルート帯案

**【案①】東側ルート**  
 国道431号の道路空間を活用する案  
 ○ : ルート帯(案)

**【案②】中央ルート**  
 都市拠点と物流施設の双方へのアクセス性、自然環境に配慮した案  
 ○ : ルート帯(案)

**【案③】西側ルート**  
 既成市街地(人口集中地区)を極力回避する案  
 ○ : ルート帯(案)



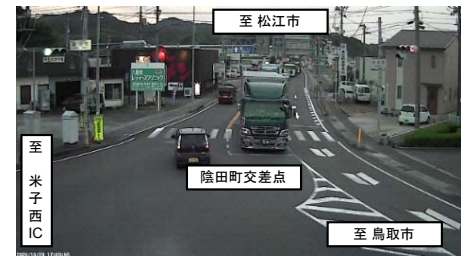
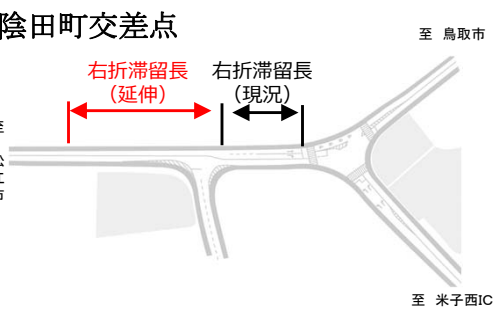
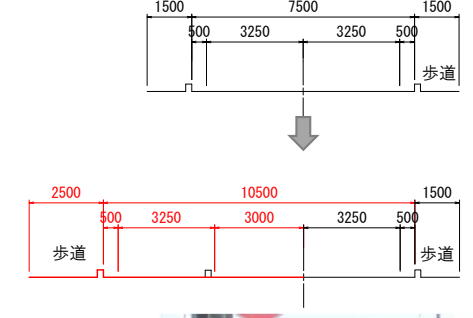
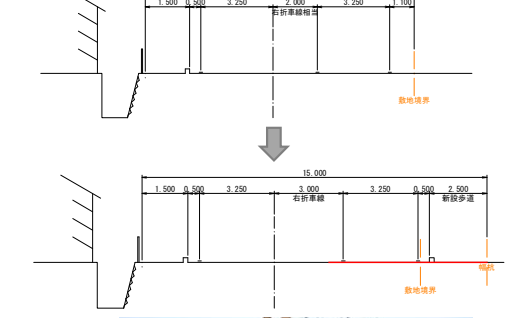
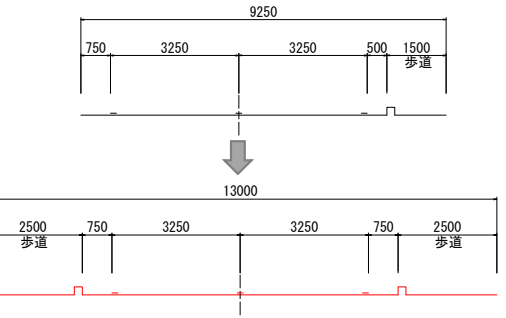
交通網		エリア・拠点	
	高規格道路		DID(令和2年)
	直轄国道		景観形成重点区域
	補助国道		物流・産業拠点
	主要地方道		観光拠点
	一般県道		防災拠点
	その他道路		市街地形成拠点
	鉄道		医療拠点
<b>交通状況</b>			公共施設(市村役場・消防署・警察署)
	主要渋滞箇所(令和6年9月時点)		小・中学校・高校
	事故多発箇所(TARDA[R1-R4]鳥取県)100件/億台キロ以上の箇所		住宅地・集落
		<b>浸水想定</b> 国土数値情報	
			津波浸水想定
			洪水浸水想定(最大想定規模)

# 4-5 安全・安心な暮らしを支える

## ■ 交差点改良事業 / 歩道整備事業

2026(R8)年度事業費：720百万円【事業推進】

- 一般国道9号に右折車線が無いいため右折待ち車両による直進車両の進行阻害や追突事故が発生している箇所、また、通学路に指定されているものの、歩道幅員が狭小であるため非常に危険な状況となっている箇所に、右折車線新設や歩道整備を行い、安全・安心な道路空間の確保を行います。
- 2026(令和8)年度は、調査設計、工事を推進します。



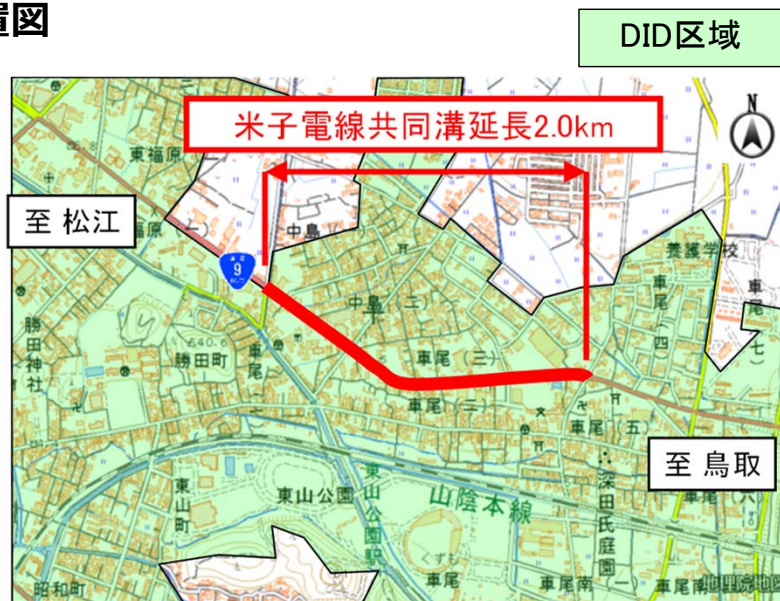
# 4-6 安全・安心な暮らしを支える

2026(R8)年度事業費：210百万円【事業推進】

## ■米子電線共同溝事業

- 米子電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業です。
- 2026(令和8)年度は、調査設計、関係機関協議、工事を推進します。

## ■位置図



出典：国土地理院「地理院地図(電子国土Web)」

## ■期待される整備効果

道路上から電柱がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行障害の危険性がなくなるため、災害時にも道路の機能が確保されます。

また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の形成が期待されます。

### 《整備の必要性(イメージ写真)》

- 道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>

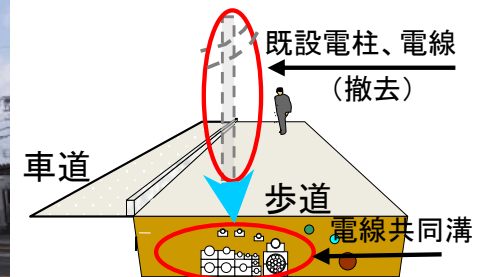


<歩行者の支障となる電柱の事例>

### 【現況写真】



### 【イメージ図】



## 4-7 老朽化対策

## ■ 橋梁補修など

- 定期点検により橋梁、トンネルの状態を把握し、早期発見・早期補修の予防保全を計画的に実施し、安全性・信頼性の確保と橋梁のライフサイクルコストの縮減を図ります。
- 2026(令和8)年度は、深浦橋などで橋梁補修工事を実施予定です。



▲橋梁点検実施状況



▲点検支援技術による橋梁点検状況（ドローン）



▲トンネル点検実施状況



▲橋梁補修工事予定（深浦橋）



▲橋梁点検講習会（自治体支援）実施状況▲

## 4-8 道路管理

## ■ 道路の維持管理 一般国道9号及び山陰道（自動車専用道路）

- 一般国道9号は、京都市から山口県下関市に至る主要幹線道路です。当事務所では、鳥取県東伯郡湯梨浜町小浜（鳥取市境）～鳥取・島根県境までの国道9号 延長約125km（うち、山陰道延長約57km 鳥取市青谷町～米子市陰田町）を管理しています。
- 道路の整備をはじめ、維持・修繕・交通安全対策・環境対策などの取り組みを行っています。

## ■ 維持管理 作業状況



▲ 道路巡回における異常箇所等の発見



▲ 路面清掃車による路面清掃



▲ 路面（アスファルト舗装）の補修



▲ 植栽帯の剪定作業



▲ 除雪グレーダーによる除雪作業



▲ 異常時（大雨等）の応急作業

## ■ 雪害対策の取り組み



▲ 雪害時車両移動訓練



▲ 冬用タイヤ装着啓発活動

大雪に関する気象情報発表又は大雪警報発令



情報連絡会議開設（Teams常時接続）

【構成員】（限不印）

- ・ 中国地方整備局、鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、岡山国道事務所
- ・ 鳥取県、岡山県
- ・ 市町村（沿線自治体）
- ・ 警察（鳥取県・岡山県・兵庫県）
- ・ 消防（鳥取県本部）
- ・ NEXCO（福岡・津山高速・米子高速・松江高速）
- ・ 中国四国管区警察局（オプザバー）
- ・ 鳥取・岡山気象台（オプザバー）
- ・ 鳥取運輸支局（オプザバー）
- ・ 自衛隊（オプザバー）

▲ 情報連絡会議の設置



▲ 協力業者によるスタック車両牽引

## 4-9 道路管理

倉吉河川国道事務所



▲風水害対策訓練時の状況

## ■ 道路管理のための災害対応

- 倉吉河川国道事務所では、強風、地震、豪雨、豪雪などの災害が発生、または発生する恐れがある場合において、情報収集や連絡体制などの初動体制を速やかに行い、災害対応を行っています。
- 冬季には除雪トラックや除雪グレーダなどによる道路の除雪、路面凍結防止剤の薬剤散布などを行い、立ち往生車両の発生を防止します。
- また、必要に応じて通行止め規制など迅速な対応を行い、道路の交通確保を行っています。

## ■ 災害発生状況

## 強風時災害状況



▲山陰道：強風による横転

## 地震時災害状況



▲国道9号：地震による路面のうねり

## 豪雨時災害状況



▲山陰道：豪雨による浸水

## 豪雪時災害状況



▲山陰道：大雪による大型車両の立ち往生



▲山陰道：強風による横転



▲国道9号：地震による舗装の損傷



▲国道9号：水路閉塞による路面冠水



▲国道9号：大雪によるスタック大型車

## 4-10 地域との協働

## ■ ボランティア・サポート・プログラム

- 「ボランティア・サポート・プログラム」とは、地域住民・地方公共団体・道路管理者が協力して道路の清掃美化活動を行い、道路への愛着を育てるとともに、道路利用者のマナー向上を啓発することを目的としています。
- 倉吉河川国道事務所管内では、2026(令和8)年3月時点で、36団体が積極的に活動を行っています。

## ■ プログラムの仕組み



▲ ボランティア・ロード大山



▲ ラッテちゃんボランティア・ロード



# 4-11 “道”を活用した地域づくり・魅力づくりについて考える！（道の活用検討会）

倉吉河川国道事務所

## ■ 情報発信拠点となる道の駅を活用した観光客誘致のための具体的方策について考える（令和7年度の取り組み）

- 令和7年度は『道の駅「はわい」情報コーナー活用検討PART2！！』をテーマに、道路利用者・地域住民の視点で「道の駅はわい」の情報提供コーナーの活用検討を実施しました。実際に現地を確認してもらい、情報コーナー活用検討についてワークショップで議論しました。

### ■ 第1回「道の活用検討会」の開催概要

第1回検討会では、道の駅はわいの現地点検を実施しました。気づき・問題点・課題等について意見交換を実施しました。



### ■ 第2回「道の活用検討会」の開催概要

第2回検討会では、第1回検討会の気づき・問題等について、具体的な対策案・維持継続のための取組・役割について意見交換を実施しました。

